

第177期末 (2026年4月14日)

基準価額 8,657円

純資産総額 45億円

第172期～第177期
(2025年10月15日～2026年4月14日)

騰落率 Δ 2.3%

分配金合計 18円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

ニッセイ日本債券ファンド (毎月決算型)

追加型投信/国内/債券

運用報告書 (全体版)

作成対象期間: 2025年10月15日～2026年4月14日

第172期 (決算日2025年11月14日) 第175期 (決算日2026年2月16日)

第173期 (決算日2025年12月15日) 第176期 (決算日2026年3月16日)

第174期 (決算日2026年1月14日) 第177期 (決算日2026年4月14日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ日本債券ファンド(毎月決算型)」は、このたび第177期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内の国債以外の債券(社債、地方債等)を積極的に組み入れ、相対的に高い利回りの実現をめざした運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



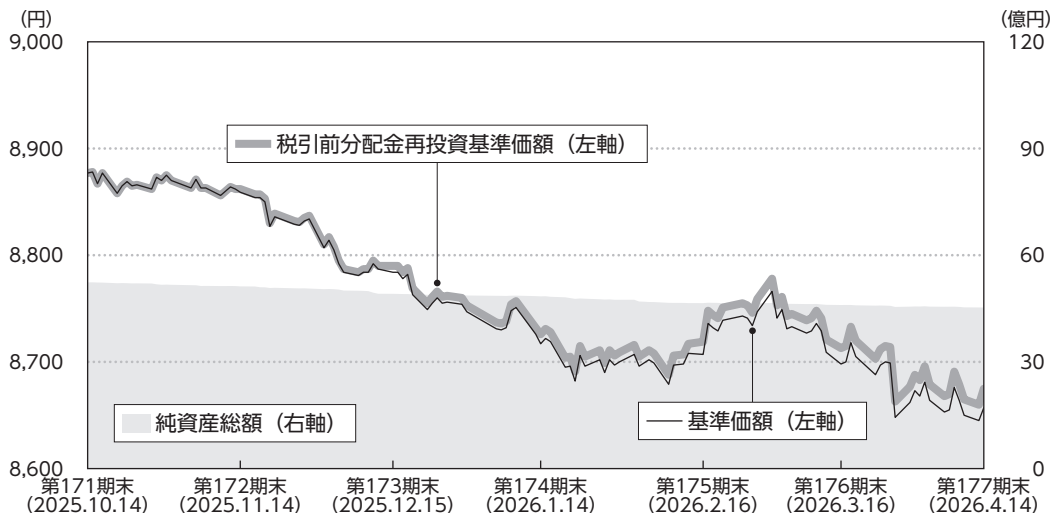
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2025年10月15日～2026年4月14日

基準価額等の推移



| | | | |
|--------|--------|-----------------|-------|
| 第172期首 | 8,877円 | 既払分配金 | 18円 |
| 第177期末 | 8,657円 | 騰落率 (分配金再投資ベース) | △2.3% |

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

< 上昇要因 >

- ・2026年1月下旬から2月下旬にかけて、片山財務相の金利急騰への対応姿勢や日米協調での為替介入観測に加えて、衆院選で自民党が大勝すると財政拡張懸念が後退し、金利が低下（債券価格は上昇）したこと

< 下落要因 >

- ・2025年11月から12月にかけて、自民党総裁選で高市氏が勝利したことに伴い財政拡張懸念が高まったことや日銀が金融引き締めに向きな姿勢を示したことによって、金利が上昇したこと
- ・2026年1月上旬から1月中旬にかけて、衆議院解散後に与野党の多くが公約に消費税減税を盛り込むことを検討するとの報道が相次ぎ、財政拡張懸念が高まったことで金利が上昇したこと
- ・3月に、米国とイスラエルによるイラン攻撃に伴う中東情勢の緊迫化を受けて、原油価格が急騰する中でのインフレ圧力への警戒感や日銀の早期利上げ観測などから金利が上昇したこと

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第172期～第177期 | | 項目の概要 |
|--------|-------------|---------|--|
| | 金額 | 比率 | |
| 信託報酬 | 21円 | 0.235% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,757円です。 |
| (投信会社) | (10) | (0.109) | ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (10) | (0.109) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| (受託会社) | (1) | (0.016) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |
| その他費用 | 0 | 0.003 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| (監査費用) | (0) | (0.003) | 公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用 |
| 合計 | 21 | 0.238 | |

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

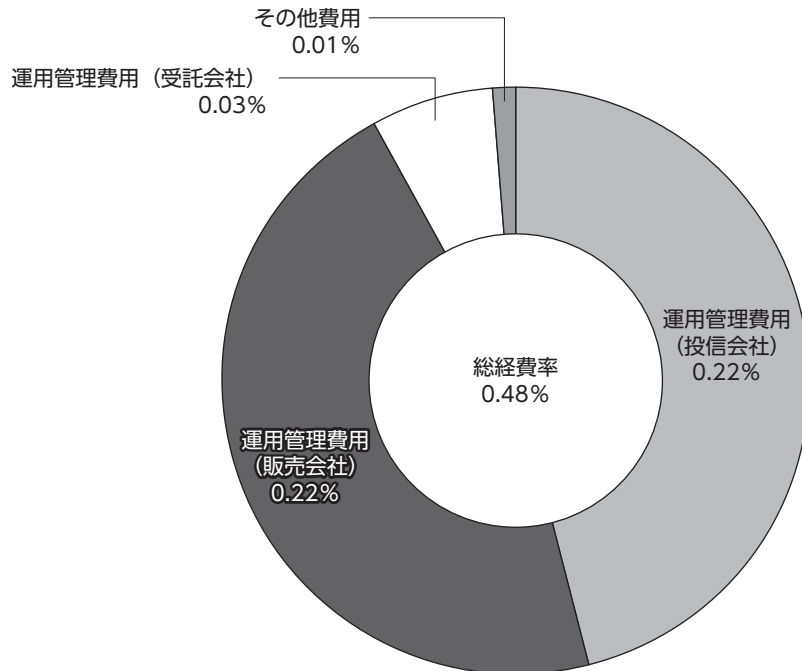
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.48%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

国内債券市況

【10年国債金利の推移】



(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

当作成期首を1.65%でスタートした10年国債金利は、2025年11月から12月にかけて自民党総裁選で高市氏が勝利したことに伴い財政拡張懸念が高まったことや、日銀が金融引き締めに向きを示したことから上昇しました。

2026年1月は、衆議院解散後に与野党の多くが公約に消費税減税を盛り込むことを検討するとの報道が相次ぎ、金利は急騰したものの、1月下旬には片山財務相が金利急騰に対応する意向を示したほか、日米協調での為替介入の可能性が浮上したことから低下に転じました。2月の衆院選で自民党が大勝すると、財政拡張懸念が後退し、低下基調で推移しました。しかし3月に入ると、米国とイスラエルによるイラン攻撃に伴う中東情勢の緊迫化を受けて、原油価格が急騰する中でのインフレ圧力への警戒感や、日銀の早期利上げ観測などから、金利は再び上昇しました。4月は米国とイランの停戦合意による原油安や好調な国債入札を受け金利が低下する場面があった一方、和平協議難航に伴うインフレ警戒から上昇するなど、中東情勢に左右される展開となりました。結局、当作成期末の10年国債金利は2.42%となりました。

社債スプレッドについては、国内企業業績への楽観視等から縮小する月もありました。一方で、海外でのプライベートクレジット（ノンバンク融資）関連の懸念や中東情勢の緊迫化によるスタグフレーション（不景気と物価上昇の同時進行）懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり拡大する場面も見られました。結局、当作成期を通じては拡大となりました。

ポートフォリオ

■当ファンド

当作成期も設定・解約に伴う一時的な変動を除き、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主に、国内の公社債に分散投資を行い、インカム・ゲイン（配当等収益）を中心とした収益の確保を目標に運用を行いました。

当作成期末時点での保有債券は、社債（99.4%）、国債（0.6%）としています。前作成期末と比較すると、国債の構成比は上昇しました。

また、当作成期末の平均格付は「A A格」でした。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）社債には、公社公団債等の一部の特殊債を含みます。

（注3）格付はR&I社、JCR社、ムーディーズ社、S&P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の公社債に分散投資を行い、安定した配当等収益の確保および信託財産の長期的な成長を図ることを目標に運用を行っていることから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

| 項目 | 第172期 2025年10月15日 ～ 2025年11月14日 | 第173期 2025年11月15日 ～ 2025年12月15日 | 第174期 2025年12月16日 ～ 2026年1月14日 | 第175期 2026年1月15日 ～ 2026年2月16日 | 第176期 2026年2月17日 ～ 2026年3月16日 | 第177期 2026年3月17日 ～ 2026年4月14日 |
|-----------|--|--|---|--|--|--|
| | 当期分配金（税引前） | 3円 | 3円 | 3円 | 3円 | 3円 |
| 対基準価額比率 | 0.03% | 0.03% | 0.03% | 0.03% | 0.03% | 0.03% |
| 当期の収益 | 2円 | 2円 | 2円 | 3円 | 3円 | 3円 |
| 当期の収益以外 | 0円 | 0円 | 0円 | － | － | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 30円 | 30円 | 29円 | 30円 | 30円 | 31円 |

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の国債以外の債券（社債、地方債等）を積極的に組み入れ、相対的に高い利回りの実現をめざした運用を行います。

■マザーファンド

国内長期金利は、当作成期末の大幅な上昇に対する反動で低下圧力が高まる場面が考えられる一方、物価上昇懸念や日銀の利上げ観測の高まりによって、上昇基調で推移することを想定しています。

社債スプレッドについては、高い金利水準を背景に社債への投資需要は高まりやすい環境にあるものの、海外でプライベートクレジット等への懸念が広がるリスクもあるため、横ばいを想定します。

現在は社債を中心に残存期間（満期までの期間）ごとに均等に投資したポートフォリオを構築しており、今後も引き続き、同様のポートフォリオを保持します。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

| | 第177期末 2026年4月14日 |
|-----------------------|----------------------|
| ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド | 100.0% |

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

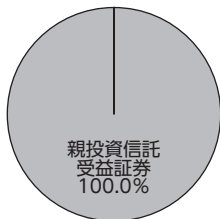
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

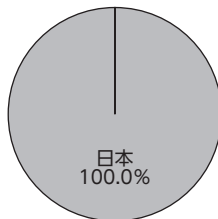
| 項目 | 第172期末 2025年11月14日 | 第173期末 2025年12月15日 | 第174期末 2026年1月14日 | 第175期末 2026年2月16日 | 第176期末 2026年3月16日 | 第177期末 2026年4月14日 |
|------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 純資産総額 | 5,123,099,089円 | 4,913,946,112円 | 4,842,625,397円 | 4,652,007,262円 | 4,598,784,250円 | 4,527,644,235円 |
| 受益権総口数 | 5,782,687,999口 | 5,593,948,170口 | 5,555,242,839口 | 5,342,597,412口 | 5,287,074,321口 | 5,230,031,340口 |
| 1万口当たり基準価額 | 8,859円 | 8,784円 | 8,717円 | 8,707円 | 8,698円 | 8,657円 |

(注) 当作成期間（第172期～第177期）中における追加設定元本額は34,044,597円、同解約元本額は701,768,465円です。

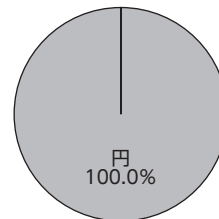
資産別配分



国別配分



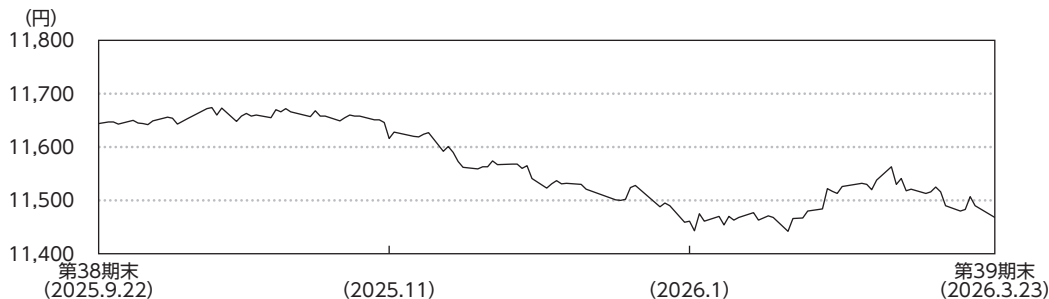
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2026年4月14日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ日本インカムオープンマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



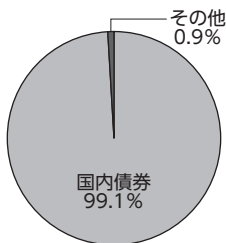
■ 上位銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-----------------------|----|------|
| 第7回 スタンレー電気 | 円 | 1.3% |
| 第3回 神奈川中央交通 | 円 | 1.3 |
| 第47回 日本精工 | 円 | 1.2 |
| 第106回 近鉄グループホールディングス | 円 | 1.2 |
| 第47回 大阪瓦斯（トランジションボンド） | 円 | 1.1 |
| 第16回 武田薬品工業 | 円 | 1.1 |
| 第26回 住友電気工業 | 円 | 1.1 |
| 第2回 日鉄住金物産 | 円 | 1.1 |
| 第5回 ニフコ | 円 | 1.1 |
| 第11回 三井住友海上火災保険 | 円 | 1.1 |
| 組入銘柄数 | | 231 |

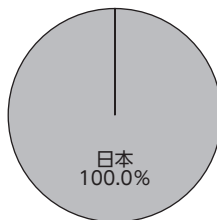
■ 1万口当たりの費用明細

当期（2025年9月23日～2026年3月23日）における費用はありません。

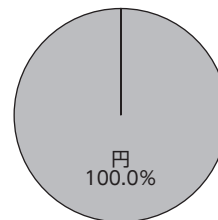
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2026年3月23日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ日本債券ファンド（毎月決算型）

最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 (分配落) | 税引前 分配金 | 期中 騰落率 | (ご参考) | 債券 組入比率 | 純資産 総額 |
|--------------------|---------------|------------|-----------|----------------|------------|-----------|
| | | | | 基準価額+ 累計分配金 | | |
| | 円 | 円 | % | 円 | % | 百万円 |
| 148期(2023年11月14日) | 9,074 | 3 | △0.5 | 10,266 | 98.3 | 8,225 |
| 149期(2023年12月14日) | 9,138 | 3 | 0.7 | 10,333 | 98.3 | 8,076 |
| 150期(2024年 1 月15日) | 9,199 | 3 | 0.7 | 10,397 | 98.8 | 7,998 |
| 151期(2024年 2 月14日) | 9,134 | 3 | △0.7 | 10,335 | 99.4 | 7,748 |
| 152期(2024年 3 月14日) | 9,130 | 3 | △0.0 | 10,334 | 99.0 | 7,590 |
| 153期(2024年 4 月15日) | 9,100 | 3 | △0.3 | 10,307 | 98.9 | 7,450 |
| 154期(2024年 5 月14日) | 9,068 | 3 | △0.3 | 10,278 | 98.3 | 7,308 |
| 155期(2024年 6 月14日) | 9,089 | 3 | 0.3 | 10,302 | 99.3 | 7,131 |
| 156期(2024年 7 月16日) | 9,070 | 3 | △0.2 | 10,286 | 98.7 | 6,978 |
| 157期(2024年 8 月14日) | 9,138 | 3 | 0.8 | 10,357 | 99.1 | 6,835 |
| 158期(2024年 9 月17日) | 9,111 | 3 | △0.3 | 10,333 | 98.5 | 6,683 |
| 159期(2024年10月15日) | 9,074 | 3 | △0.4 | 10,299 | 99.1 | 6,505 |
| 160期(2024年11月14日) | 9,041 | 3 | △0.3 | 10,269 | 98.6 | 6,403 |
| 161期(2024年12月16日) | 9,041 | 3 | 0.0 | 10,272 | 98.7 | 6,296 |
| 162期(2025年 1 月14日) | 8,979 | 3 | △0.7 | 10,213 | 98.1 | 6,206 |
| 163期(2025年 2 月14日) | 8,932 | 3 | △0.5 | 10,169 | 99.3 | 6,057 |
| 164期(2025年 3 月14日) | 8,884 | 3 | △0.5 | 10,124 | 99.1 | 5,975 |
| 165期(2025年 4 月14日) | 9,004 | 3 | 1.4 | 10,247 | 98.9 | 5,954 |
| 166期(2025年 5 月14日) | 8,910 | 3 | △1.0 | 10,156 | 98.5 | 5,826 |
| 167期(2025年 6 月16日) | 8,906 | 3 | △0.0 | 10,155 | 99.1 | 5,706 |
| 168期(2025年 7 月14日) | 8,886 | 3 | △0.2 | 10,138 | 99.1 | 5,559 |
| 169期(2025年 8 月14日) | 8,893 | 3 | 0.1 | 10,148 | 98.2 | 5,433 |
| 170期(2025年 9 月16日) | 8,883 | 3 | △0.1 | 10,141 | 98.6 | 5,320 |
| 171期(2025年10月14日) | 8,877 | 3 | △0.0 | 10,138 | 99.2 | 5,235 |
| 172期(2025年11月14日) | 8,859 | 3 | △0.2 | 10,123 | 99.0 | 5,123 |
| 173期(2025年12月15日) | 8,784 | 3 | △0.8 | 10,051 | 96.9 | 4,913 |
| 174期(2026年 1 月14日) | 8,717 | 3 | △0.7 | 9,987 | 97.1 | 4,842 |
| 175期(2026年 2 月16日) | 8,707 | 3 | △0.1 | 9,980 | 98.7 | 4,652 |
| 176期(2026年 3 月16日) | 8,698 | 3 | △0.1 | 9,974 | 99.0 | 4,598 |
| 177期(2026年 4 月14日) | 8,657 | 3 | △0.4 | 9,936 | 99.0 | 4,527 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

| | 年月日 | 基準価額 | 騰落率 | 債券 組入比率 |
|---------------|---------------------|------------|--------|------------|
| | | | | |
| 第 172 期 | (期首) 2025年10月14日 | 円 8,877 | % - | % 99.2 |
| | 10月末 | 8,870 | △0.1 | 99.2 |
| | (期末) 2025年11月14日 | 8,862 | △0.2 | 99.0 |
| 第 173 期 | (期首) 2025年11月14日 | 8,859 | - | 99.0 |
| | 11月末 | 8,834 | △0.3 | 98.9 |
| | (期末) 2025年12月15日 | 8,787 | △0.8 | 96.9 |
| 第 174 期 | (期首) 2025年12月15日 | 8,784 | - | 96.9 |
| | 12月末 | 8,747 | △0.4 | 97.3 |
| | (期末) 2026年1月14日 | 8,720 | △0.7 | 97.1 |
| 第 175 期 | (期首) 2026年1月14日 | 8,717 | - | 97.1 |
| | 1月末 | 8,700 | △0.2 | 98.0 |
| | (期末) 2026年2月16日 | 8,710 | △0.1 | 98.7 |
| 第 176 期 | (期首) 2026年2月16日 | 8,707 | - | 98.7 |
| | 2月末 | 8,747 | 0.5 | 99.2 |
| | (期末) 2026年3月16日 | 8,701 | △0.1 | 99.0 |
| 第 177 期 | (期首) 2026年3月16日 | 8,698 | - | 99.0 |
| | 3月末 | 8,673 | △0.3 | 97.8 |
| | (期末) 2026年4月14日 | 8,660 | △0.4 | 99.0 |

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年10月15日～2026年4月14日

| | 第172期～第177期 | | | |
|-----------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| | 設定 | | 解約 | |
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド | 千口 25,890 | 千円 29,915 | 千口 551,548 | 千円 636,627 |

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2025年10月15日～2026年4月14日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2026年4月14日現在

| 種類 | 第171期末 | 第177期末 | |
|-----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 口数 | 口数 | 評価額 |
| ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド | 千口 4,485,493 | 千口 3,959,835 | 千円 4,527,675 |

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ日本インカムオープンマザーファンド全体の口数は60,484,138千口です。

ニッセイ日本債券ファンド（毎月決算型）

投資信託財産の構成

2026年4月14日現在

| 項目 | 第177期末 | |
|-----------------------|-----------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド | 4,527,675 | 99.6 |
| コール・ローン等、その他 | 17,688 | 0.4 |
| 投資信託財産総額 | 4,545,364 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

| 項目 | (2025年11月14日) | (2025年12月15日) | (2026年1月14日) | (2026年2月16日) | (2026年3月16日) | (2026年4月14日) 現在 |
|----------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | 第172期末 | 第173期末 | 第174期末 | 第175期末 | 第176期末 | 第177期末 |
| (A) 資産 | 5,136,647,861円 | 4,993,298,552円 | 4,847,805,524円 | 4,669,561,201円 | 4,612,561,651円 | 4,545,364,791円 |
| コール・ローン等 | 1,863,223 | 1,686,931 | 1,497,997 | 1,649,410 | 1,365,739 | 1,404,099 |
| ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド(評価額) | 5,123,140,218 | 4,914,088,932 | 4,842,665,315 | 4,652,159,968 | 4,598,939,538 | 4,527,675,926 |
| 未収入金 | 11,644,420 | 77,522,689 | 3,642,212 | 15,751,823 | 12,256,374 | 16,284,766 |
| (B) 負債 | 13,548,772 | 79,352,440 | 5,180,127 | 17,553,939 | 13,777,401 | 17,720,556 |
| 未払収益分配金 | 1,734,806 | 1,678,184 | 1,666,572 | 1,602,779 | 1,586,122 | 1,569,009 |
| 未払解約金 | 9,703,696 | 75,619,994 | 1,591,231 | 13,896,045 | 10,484,362 | 14,412,248 |
| 未払信託報酬 | 2,081,747 | 2,026,146 | 1,895,771 | 2,026,596 | 1,683,140 | 1,715,003 |
| その他未払費用 | 28,523 | 28,116 | 26,553 | 28,519 | 23,777 | 24,296 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 5,123,099,089 | 4,913,946,112 | 4,842,625,397 | 4,652,007,262 | 4,598,784,250 | 4,527,644,235 |
| 元本 | 5,782,687,999 | 5,593,948,170 | 5,555,242,839 | 5,342,597,412 | 5,287,074,321 | 5,230,031,340 |
| 次期繰越損益金△ | 659,588,910 | 680,002,058 | 712,617,442 | 690,590,150 | 688,290,071 | 702,387,105 |
| (D) 受益権総口数 | 5,782,687,999口 | 5,593,948,170口 | 5,555,242,839口 | 5,342,597,412口 | 5,287,074,321口 | 5,230,031,340口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 8,859円 | 8,784円 | 8,717円 | 8,707円 | 8,698円 | 8,657円 |

(注1) 当作成期首元本額 5,897,755,208円

当作成期中追加設定元本額 34,044,597円

当作成期中一部解約元本額 701,768,465円

(注2) 元本の欠損

当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は702,387,105円です。

ニッセイ日本債券ファンド（毎月決算型）

損益の状況

| 項目 | (第172期 2025年10月15日～2025年11月14日) (第173期 2025年11月15日～2025年12月15日) (第174期 2025年12月16日～2026年1月14日) | | | (第175期 2026年1月15日～2026年2月16日) (第176期 2026年2月17日～2026年3月16日) (第177期 2026年3月17日～2026年4月14日) | | |
|---------------------------|--|----------------|----------------|---|----------------|----------------|
| | 第172期 | 第173期 | 第174期 | 第175期 | 第176期 | 第177期 |
| (A) 配 当 等 収 益 | 260円 | 299円 | 322円 | 437円 | 283円 | 320円 |
| 受 取 利 息 | 260 | 299 | 322 | 437 | 283 | 320 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 6,127,137 | △ 38,206,820 | △ 33,727,181 | △ 1,574,990 | △ 1,589,601 | △ 18,201,424 |
| 売 買 益 | 99,394 | 989,574 | 118,792 | 358,030 | 165,685 | 135,172 |
| 売 買 損 | △ 6,226,531 | △ 39,196,394 | △ 33,845,973 | △ 1,933,020 | △ 1,755,286 | △ 18,336,596 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 2,110,270 | △ 2,054,262 | △ 1,922,324 | △ 2,055,115 | △ 1,706,917 | △ 1,739,299 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 8,237,147 | △ 40,260,783 | △ 35,649,183 | △ 3,629,668 | △ 3,296,235 | △ 19,940,403 |
| (E) 前期繰越損益金 | △406,982,436 | △403,013,805 | △441,396,160 | △459,479,422 | △459,674,325 | △459,074,480 |
| (分配準備積立金) | (-) | (-) | (-) | (-) | (242,851) | (389,872) |
| (繰越欠損金) | (△406,982,436) | (△403,013,805) | (△441,396,160) | (△459,479,422) | (△459,917,176) | (△459,464,352) |
| (F) 追加信託差損益金* | △242,634,521 | △235,049,286 | △233,905,527 | △225,878,281 | △223,733,389 | △221,803,213 |
| (配当等相当額) | (17,911,075) | (17,115,259) | (16,695,995) | (15,966,104) | (15,802,895) | (15,633,170) |
| (売買損益相当額) | (△260,545,596) | (△252,164,545) | (△250,601,522) | (△241,844,385) | (△239,536,284) | (△237,436,383) |
| (G) 合 計(D + E + F) | △657,854,104 | △678,323,874 | △710,950,870 | △688,987,371 | △686,703,949 | △700,818,096 |
| (H) 収 益 分 配 金 | △ 1,734,806 | △ 1,678,184 | △ 1,666,572 | △ 1,602,779 | △ 1,586,122 | △ 1,569,009 |
| 次期繰越損益金(G+H) | △659,588,910 | △680,002,058 | △712,617,442 | △690,590,150 | △688,290,071 | △702,387,105 |
| 追加信託差損益金 | △242,855,382 | △235,352,495 | △234,000,339 | △225,878,281 | △223,733,389 | △221,803,213 |
| (配当等相当額) | (17,692,717) | (16,812,320) | (16,601,593) | (15,968,743) | (15,803,272) | (15,634,806) |
| (売買損益相当額) | (△260,548,099) | (△252,164,815) | (△250,601,932) | (△241,847,024) | (△239,536,661) | (△237,438,019) |
| 分配準備積立金 | - | - | - | 245,513 | 394,528 | 698,406 |
| 繰越欠損金 | △416,733,528 | △444,649,563 | △478,617,103 | △464,957,382 | △464,951,210 | △481,282,298 |

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

| 項目 | 第172期 | 第173期 | 第174期 | 第175期 | 第176期 | 第177期 |
|--------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 1,513,945円 | 1,374,975円 | 1,571,760円 | 1,848,292円 | 1,737,799円 | 1,877,543円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| (c) 信託約款に定める収益調整金 | 17,913,578円 | 17,115,529円 | 16,696,405円 | 15,968,743円 | 15,803,272円 | 15,634,806円 |
| (d) 信託約款に定める分配準備積立金 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 242,851円 | 389,872円 |
| (e) 分配対象額(a + b + c + d) | 19,427,523円 | 18,490,504円 | 18,268,165円 | 17,817,035円 | 17,783,922円 | 17,902,221円 |
| (f) 分配対象額(1万口当たり) | 33.60円 | 33.05円 | 32.88円 | 33.35円 | 33.64円 | 34.23円 |
| (g) 分配金 | 1,734,806円 | 1,678,184円 | 1,666,572円 | 1,602,779円 | 1,586,122円 | 1,569,009円 |
| (h) 分配金(1万口当たり) | 3円 | 3円 | 3円 | 3円 | 3円 | 3円 |

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

お知らせ

■約款変更

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」の合併に伴い関連条項に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ニッセイ日本債券ファンド（毎月決算型）



<https://www.nam.co.jp/fundinfo/nnsf/main.html>

当ファンドの概要

| | | |
|---------|--|--|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／国内／債券 | |
| 信 託 期 間 | 無期限 | |
| 運 用 方 針 | ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の公社債に分散投資を行い、安定した配当等収益の確保および信託財産の長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | ニッセイ日本債券ファンド （毎月決算型） | ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド受益証券 |
| | ニッセイ日本インカム オープンマザーファンド | 国内の公社債 |
| 運用方法 | ニッセイ日本債券ファンド （毎月決算型） | 以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限るものとし、実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 |
| | ニッセイ日本インカム オープンマザーファンド | 以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。 |
| 分 配 方 針 | 毎決算日に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 | |

ニッセイ日本インカムオープン マザーファンド

運用報告書

第 39 期

(計算期間：2025年9月23日～2026年3月23日)

運用方針

- ①主に、国内の公社債に分散投資を行い、インカム・ゲイン（配当等収益）を中心とした収益の確保に努めます。
- ②公社債への投資については、信用力のある国内の公社債を中心に投資を行い、ファンド全体の信用リスクの適切な管理に努めます。

主要運用 対象

国内の公社債

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2025年9月23日～2026年3月23日

国内債券市況



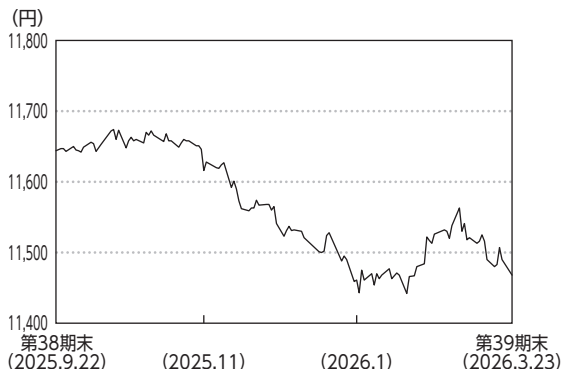
(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

期首を1.65%でスタートした10年国債金利は、日銀金融政策決定会合にて2人の審議委員が利上げを主張したことを受けて、上昇しました。その後2025年11月から12月にかけて、自民党総裁選で高市氏が勝利したことに伴い財政拡張懸念が高まったことや日銀が金融引き締めに向きを示したことから、上昇が続きました。

2026年1月は、衆議院解散後に与野党の多くが公約に消費税減税を盛り込むことを検討するとの報道が相次ぎ、金利は急騰したものの、1月下旬には片山財務相が金利急騰に対応する意向を示したほか、日米協調での為替介入の可能性が浮上したことから低下に転じました。2月の衆院選で自民党が大勝すると、財政拡張懸念が後退し、低下基調で推移しました。しかし3月に入ると、米国とイスラエルによるイラン攻撃に伴う中東情勢の緊迫化を受けて、原油価格が急騰する中でのインフレ圧力への警戒感や日銀の早期利上げ観測などから、金利は再び上昇しました。結局、当期末の10年国債金利は2.31%となりました。

社債スプレッドについては、国内企業業績への楽観視等から縮小する月もありました。一方で、10月に米国で複数の倒産事例が報道されたことや2月に海外でプライベートクレジット（ノンバンク融資）関連の懸念が広がったことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり拡大する場面も見られました。結局、期を通じては拡大となりました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2026年1月下旬から2月下旬にかけて、片山財務相の金利急騰への対応姿勢や日米協調での為替介入観測に加えて、衆院選で自民党が大勝すると財政拡張懸念が後退し、金利が低下（債券価格は上昇）したこと

<下落要因>

- ・2025年11月から12月にかけて、自民党総裁選で高市氏が勝利したことに伴い財政拡張懸念が高まったことや日銀が金融引き締めに向き姿勢を示したことによって、金利が上昇したこと
- ・2026年1月上旬から1月中旬にかけて、衆議院解散後に与野党の多くが公約に消費税減税を盛り込むことを検討するとの報道が相次ぎ財政拡張懸念が高まったことで金利が上昇したこと
- ・3月に、米国とイスラエルによるイラン攻撃に伴う中東情勢の緊迫化を受けて、原油価格が急騰する中でインフレ圧力への警戒感や日銀の早期利上げ観測などから金利が上昇したこと

ポートフォリオ

日本の多種多様な債券（国債、社債、金融債、ABS等）に投資を行い、国債以外の債券を積極的に組み入れたラダー型運用をめざすことで、インカム・ゲイン（配当等収益）を中心とした収益の確保および信託財産の長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

(注1) ABSとは、Asset Backed Securities（資産担保証券）の略で、ローン債権やリース債権などの資産を裏付として発行された証券です。

(注2) ラダー型運用とは、債券の残存期間ごとに均等に投資を行い、常にラダー（はしご）の形の満期構成になるようにする運用です。ラダー型運用は金利リスクを平均化しつつ、収益性も確保することを目的とした運用手法です。

当期末時点での保有債券は組入比率の高い順に、社債（99.4%）、国債（0.6%）としています。国債の構成比は前期末と比較すると、増加しました。

また、当期末の平均格付は「AA-格」でした。

(注1) 比率は対組入債券評価額比です。

(注2) 社債には、公社公債等の一部の特殊債を含みます。

(注3) 格付はR&I社、JCR社、ムーディーズ社、S&P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、日本の多種多様な債券（国債、社債、金融債、ABS等）に投資を行い、国債以外の債券を積極的に組み入れたラダー型運用をめざすことで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保および信託財産の長期的な成長を図っていることから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

国内長期金利は、当期末の大幅な上昇に対する反動で低下圧力が高まる場面が考えられる一方、物価上昇懸念や日銀の利上げ観測の高まりによって、上昇基調で推移することを想定しています。

社債スプレッドについては、高い金利水準を背景に社債への投資需要は高まりやすい環境にあるものの、海外でプライベートクレジット等への懸念が広がるリスクもあるため、横ばいを想定しています。

現在は社債を中心にラダー型ポートフォリオを構築しており、今後も引き続き、同様のポートフォリオを保持します。

最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | 期中 騰落率 | 債券 組入比率 | 純資産 総額 |
|------------------|--------|-----------|------------|-----------|
| | | | | |
| | 円 | % | % | 百万円 |
| 35期 (2024年3月21日) | 11,853 | 0.4 | 98.5 | 67,051 |
| 36期 (2024年9月20日) | 11,855 | 0.0 | 98.4 | 60,057 |
| 37期 (2025年3月21日) | 11,622 | △2.0 | 101.1 | 55,866 |
| 38期 (2025年9月22日) | 11,644 | 0.2 | 97.9 | 60,823 |
| 39期 (2026年3月23日) | 11,468 | △1.5 | 99.1 | 70,734 |

当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | 騰落率 | 債券 組入比率 |
|-----------------|--------|------|------------|
| | | | |
| | 円 | % | % |
| (期首) 2025年9月22日 | 11,644 | — | 97.9 |
| 9月末 | 11,645 | 0.0 | 98.0 |
| 10月末 | 11,666 | 0.2 | 99.2 |
| 11月末 | 11,627 | △0.1 | 98.9 |
| 12月末 | 11,521 | △1.1 | 97.3 |
| 2026年1月末 | 11,468 | △1.5 | 98.0 |
| 2月末 | 11,538 | △0.9 | 99.2 |
| (期末) 2026年3月23日 | 11,468 | △1.5 | 99.1 |

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2025年9月23日～2026年3月23日

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|---------|----|----|---|
| | 金額 | 比率 | |
| 売買委託手数料 | －円 | －% | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料 |
| 有価証券取引税 | － | － | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| その他費用 | － | － | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| 合計 | － | － | |

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(11,565円)で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年9月23日～2026年3月23日

公社債

| | | 買付額 | 売付額 |
|----|------|------------|--------------------------|
| | | 千円 | 千円 |
| 国内 | 国債証券 | 2,461,046 | 2,083,685 |
| | 社債券 | 14,467,730 | 1,188,728 (1,810,000) |

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年9月23日～2026年3月23日

公社債

| 買付 | | 売付 | |
|---------------------|---------|-----------------|---------|
| 銘柄 | 金額 | 銘柄 | 金額 |
| | 千円 | | 千円 |
| 第10回 第一三共 | 693,012 | 第362回 利付国債（10年） | 646,709 |
| 第9回 ソフトバンク | 686,513 | 第172回 利付国債（5年） | 581,183 |
| 第6回 T&Dホールディングス | 676,830 | 第4回 ファーストリテイリング | 400,028 |
| 第362回 利付国債（10年） | 649,299 | 第373回 利付国債（10年） | 362,780 |
| 第172回 利付国債（5年） | 582,870 | 第326回 北海道電力 | 300,051 |
| 第44回 芙蓉総合リース | 500,000 | 第182回 利付国債（5年） | 297,549 |
| 第28回 イオンフィナンシャルサービス | 500,000 | 第8回 住友林業 | 288,579 |
| 第11回 三井住友海上火災保険 | 491,735 | 第34回 いすゞ自動車 | 200,070 |
| 第407回 北海道電力 | 489,720 | 第163回 利付国債（5年） | 195,464 |
| 第33回 いすゞ自動車 | 486,060 | — | — |

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2026年3月23日現在

国内（邦貨建）公社債

| 区分 | 当期末 | | | | | | |
|------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------|-----------------|--------------------|----------------|----------------|
| | 額面金額 | 評価額 | 組入比率 | うちBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| 国債証券 | 千円 450,000 (450,000) | 千円 412,172 (412,172) | % 0.6 (0.6) | % — | % 0.6 (0.6) | % — | % — |
| 特殊債券 (除く金融債券) | 100,000 (100,000) | 98,104 (98,104) | 0.1 (0.1) | — | — | — | 0.1 (0.1) |
| 社債券 | 73,863,000 (73,863,000) | 69,564,721 (69,564,721) | 98.3 (98.3) | — | 49.8 (49.8) | 28.3 (28.3) | 20.2 (20.2) |
| 合計 | 74,413,000 (74,413,000) | 70,074,997 (70,074,997) | 99.1 (99.1) | — | 50.4 (50.4) | 28.3 (28.3) | 20.4 (20.4) |

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入力しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド

(国内公社債の内訳)

| 債券種別 | 銘柄名 | 利率 | 償還年月日 | 額面金額 | | 評価額 | |
|--------------------|----------------------------------|------------|------------|---------|---------|---------|----|
| | | | | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 国債証券 | 第369回 利付国債 (10年) | 0.5000 | 2032/12/20 | 50,000 | 45,503 | | |
| | 第373回 利付国債 (10年) | 0.6000 | 2033/12/20 | 100,000 | 89,682 | | |
| | 第377回 利付国債 (10年) | 1.2000 | 2034/12/20 | 300,000 | 276,987 | | |
| | 小計 | — | — | — | — | 412,172 | |
| 特殊債券 (除く金融債券) | 第109回 鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 | 0.2300 | 2027/11/26 | 100,000 | 98,104 | | |
| | 小計 | — | — | — | — | 98,104 | |
| 社債券 | 第53回 鹿島建設 (ネイチャーボンド) | 2.5530 | 2036/3/10 | 200,000 | 196,538 | | |
| | 第16回 西松建設 | 1.7780 | 2030/9/19 | 100,000 | 97,906 | | |
| | 第1回 熊谷組 (グリーンボンド) | 1.7930 | 2030/10/30 | 200,000 | 195,919 | | |
| | 第8回 住友林業 | 0.3800 | 2029/3/6 | 400,000 | 383,984 | | |
| | 第34回 大和ハウス工業 (サステナビリティリンクボンド) | 0.9730 | 2033/9/7 | 500,000 | 452,549 | | |
| | 第26回 積水ハウス | 1.6110 | 2035/2/14 | 300,000 | 277,571 | | |
| | 第1回 日清製粉グループ本社 | 0.2000 | 2029/7/13 | 400,000 | 379,663 | | |
| | 第20回 森永乳業 | 1.4300 | 2034/6/5 | 300,000 | 274,993 | | |
| | 第22回 森永乳業 | 2.0640 | 2035/6/1 | 400,000 | 379,421 | | |
| | 第12回 日本ハム | 0.3600 | 2029/2/20 | 600,000 | 576,532 | | |
| | 第14回 日本ハム (サステナビリティボンド) | 0.3000 | 2031/2/20 | 100,000 | 91,785 | | |
| | 第17回 日本ハム | 1.5610 | 2035/1/19 | 100,000 | 91,715 | | |
| | 第26回 アサヒグループホールディングス | 1.3230 | 2034/10/17 | 100,000 | 90,656 | | |
| | 第28回 アサヒグループホールディングス | 1.9280 | 2035/5/2 | 100,000 | 94,443 | | |
| | 第17回 キリンホールディングス | 0.3700 | 2030/6/4 | 100,000 | 93,550 | | |
| | 第24回 キリンホールディングス | 1.3180 | 2033/10/26 | 400,000 | 368,904 | | |
| | 第28回 キリンホールディングス | 2.0750 | 2035/5/29 | 200,000 | 190,755 | | |
| | 第12回 サントリーホールディングス | 0.8000 | 2033/5/25 | 300,000 | 269,736 | | |
| | 第12回 日清オイリオグループ | 0.3650 | 2027/12/3 | 300,000 | 294,101 | | |
| | 第2回 J・オイルミルズ | 0.3700 | 2027/5/28 | 400,000 | 394,611 | | |
| | 第38回 双日 | 0.5500 | 2031/5/27 | 100,000 | 91,792 | | |
| | 第25回 味の素 | 0.3550 | 2027/3/9 | 300,000 | 297,518 | | |
| | 第19回 日本たばこ産業 | 1.7810 | 2035/4/10 | 600,000 | 560,359 | | |
| | 第10回 日鉄興和不動産 (グリーンボンド) | 2.3100 | 2031/1/21 | 100,000 | 98,676 | | |
| | 第8回 中央日本土地建物グループ (グリーンボンド) | 1.0430 | 2029/2/16 | 100,000 | 96,926 | | |
| | 第6回 J・フロント リテイリング | 0.4350 | 2027/8/4 | 500,000 | 492,597 | | |
| | 第8回 J・フロント リテイリング | 0.3700 | 2029/5/22 | 300,000 | 285,850 | | |
| | 第16回 森ビル | 1.0020 | 2027/4/30 | 100,000 | 99,568 | | |
| | 第32回 東急不動産ホールディングス (サステナビリティボンド) | 2.0450 | 2035/7/13 | 100,000 | 93,841 | | |
| | 第35回 東急不動産ホールディングス (グリーンボンド) | 2.2010 | 2033/3/3 | 200,000 | 196,903 | | |
| | 第19回 セブン&アイ・ホールディングス | 1.3920 | 2033/11/2 | 300,000 | 272,754 | | |
| | 第30回 東レ | 0.3750 | 2027/7/16 | 600,000 | 592,029 | | |
| | 第36回 東レ | 1.2910 | 2033/11/24 | 200,000 | 183,462 | | |
| | 第29回 旭化成 | 1.4020 | 2034/12/1 | 500,000 | 456,072 | | |
| | 第4回 日本土地建物 | 0.7340 | 2028/10/25 | 200,000 | 193,099 | | |
| | 第43回 王子ホールディングス | 0.3700 | 2031/3/24 | 200,000 | 182,608 | | |
| 第4回 レジナック・ホールディングス | 1.4090 | 2029/12/10 | 300,000 | 291,634 | | | |
| 第37回 昭和電工 | 0.5100 | 2027/4/28 | 100,000 | 98,935 | | | |
| 第6回 エア・ウォーター | 0.3800 | 2030/5/31 | 300,000 | 272,361 | | | |
| 第8回 エア・ウォーター | 0.2800 | 2031/6/30 | 200,000 | 174,083 | | | |
| 第11回 エア・ウォーター | 0.8400 | 2033/7/21 | 300,000 | 250,067 | | | |

ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド

| 債券種別 | 銘柄名 | 利率 | 償還年月日 | 額面金額 | 評価額 |
|-------------|---------------------------------------|------------|------------|---------|---------|
| | | % | | 千円 | 千円 |
| 社債券 | 第4回 エア・ウォーター | 0.4050 | 2028/8/31 | 100,000 | 95,904 |
| | 第5回 日本酸素ホールディングス | 1.0520 | 2033/8/31 | 200,000 | 179,624 |
| | 第6回 日本酸素ホールディングス | 1.3550 | 2030/2/27 | 300,000 | 291,913 |
| | 第54回 三井化学 | 0.2800 | 2031/12/3 | 500,000 | 447,577 |
| | 第62回 三井化学 | 1.9760 | 2035/2/27 | 300,000 | 282,624 |
| | 第2回 三菱ケミカルグループ | 1.1800 | 2033/3/15 | 400,000 | 367,210 |
| | 第16回 ダイセル | 0.3800 | 2027/12/14 | 300,000 | 293,561 |
| | 第17回 ダイセル | 0.5000 | 2030/12/13 | 800,000 | 740,204 |
| | 第10回 日立化成 | 0.3750 | 2027/12/3 | 100,000 | 97,786 |
| | 第16回 武田薬品工業 | 0.4000 | 2031/10/14 | 900,000 | 805,332 |
| | 第9回 テルモ | 0.2550 | 2027/4/26 | 500,000 | 494,086 |
| | 第9回 第一三共 | 1.8780 | 2032/10/8 | 200,000 | 194,358 |
| | 第10回 第一三共 | 2.1510 | 2035/10/10 | 700,000 | 665,865 |
| | 第40回 D I C | 0.4150 | 2027/4/21 | 300,000 | 296,868 |
| | 第24回 オリエンタルランド | 1.2580 | 2034/8/28 | 300,000 | 271,996 |
| | 第26回 オリエンタルランド | 1.7980 | 2032/10/8 | 100,000 | 97,265 |
| | 第27回 オリエンタルランド | 2.0910 | 2035/10/9 | 400,000 | 381,768 |
| | 第12回 L I N E ヤフー | 0.3700 | 2026/7/31 | 100,000 | 99,756 |
| | 第21回 Zホールディングス | 0.6300 | 2031/7/28 | 400,000 | 363,312 |
| | 第15回 住友三井オートサービス | 2.0470 | 2031/2/14 | 100,000 | 99,313 |
| | 第7回 富士フイルムホールディングス | 0.2500 | 2027/3/3 | 300,000 | 297,191 |
| | 第23回 富士フイルムホールディングス (ソーシャルボンド) | 1.3860 | 2034/7/19 | 300,000 | 275,856 |
| | 第25回 富士フイルムホールディングス | 1.2940 | 2030/6/12 | 100,000 | 97,429 |
| | 第2回 E N E O Sホールディングス | 0.3700 | 2030/7/16 | 300,000 | 278,364 |
| | 第4回 E N E O Sホールディングス (トランジションリンクボンド) | 0.8340 | 2032/6/15 | 500,000 | 455,455 |
| | 第16回 横浜ゴム | 0.5800 | 2032/6/4 | 300,000 | 269,453 |
| | 第4回 T O Y O T I R E | 1.2120 | 2033/9/6 | 200,000 | 180,557 |
| | 第11回 プリヂェストン | 0.2950 | 2027/4/21 | 200,000 | 197,695 |
| | 第14回 プリヂェストン | 0.3750 | 2029/4/19 | 400,000 | 383,179 |
| | 第5回 A G C | 1.8250 | 2035/3/5 | 300,000 | 281,456 |
| | 第29回 太平洋セメント | 0.4500 | 2030/12/3 | 100,000 | 91,639 |
| | 第8回 日本製鉄 (グリーンボンド) | 1.1500 | 2033/3/18 | 200,000 | 182,821 |
| | 第13回 大同特殊鋼 | 0.4100 | 2028/12/12 | 400,000 | 385,216 |
| | 第41回 三菱マテリアル | 1.6140 | 2028/2/25 | 200,000 | 199,882 |
| | 第42回 三菱マテリアル | 2.1660 | 2031/2/27 | 100,000 | 99,894 |
| | 第26回 住友電気工業 | 0.3000 | 2027/3/1 | 800,000 | 792,894 |
| | 第1回 A R Eホールディングス | 1.5540 | 2028/10/23 | 400,000 | 396,070 |
| | 第2回 A R Eホールディングス | 1.9230 | 2029/3/5 | 100,000 | 99,888 |
| | 第2回 日本郵政 (グリーンボンド) | 0.4690 | 2032/9/1 | 200,000 | 178,756 |
| | 第15回 クボタ | 0.5140 | 2032/6/2 | 800,000 | 720,108 |
| 第17回 クボタ | 0.9500 | 2033/4/20 | 400,000 | 363,397 | |
| 第22回 ダイキン工業 | 0.2100 | 2026/9/30 | 400,000 | 398,302 | |
| 第29回 ダイキン工業 | 0.3390 | 2032/3/11 | 300,000 | 269,457 | |
| 第33回 ダイキン工業 | 1.3430 | 2034/7/26 | 200,000 | 182,928 | |
| 第35回 ダイキン工業 | 1.9550 | 2035/9/12 | 100,000 | 94,433 | |
| 第11回 椿本チエイン | 0.5200 | 2028/12/20 | 500,000 | 479,781 | |
| 第47回 日本精工 | 0.3800 | 2027/12/7 | 900,000 | 882,124 | |
| 第11回 ジェイテクト | 1.0080 | 2033/9/2 | 400,000 | 356,975 | |

ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド

| 債券種別 | 銘柄名 | 利率 | 償還年月日 | 額面金額 | 評価額 |
|--------------------------|-----------------------------------|------------|------------|-----------|---------|
| | | % | | 千円 | 千円 |
| 社債券 | 第10回 ミネベアミツミ (グリーンボンド) | 0.4200 | 2027/11/25 | 200,000 | 196,348 |
| | 第23回 日立製作所 | 1.1840 | 2033/12/14 | 100,000 | 90,497 |
| | 第31回 富士電機 | 0.4000 | 2028/5/25 | 100,000 | 97,297 |
| | 第65回 日本電気 (サステナビリティリンクボンド) | 1.5900 | 2034/7/7 | 300,000 | 276,653 |
| | 第67回 日本電気 (サステナビリティリンクボンド) | 2.0460 | 2035/7/25 | 100,000 | 94,009 |
| | 第41回 ソニーグループ | 1.0010 | 2034/3/7 | 200,000 | 178,740 |
| | 第43回 ソニーグループ | 1.7090 | 2035/3/6 | 300,000 | 278,676 |
| | 第10回 TDK | 0.3800 | 2031/12/2 | 300,000 | 269,148 |
| | 第6回 堀場製作所 | 0.2700 | 2029/10/17 | 500,000 | 470,551 |
| | 第7回 スタンレー電気 | 1.2620 | 2031/12/17 | 1,000,000 | 943,156 |
| | 第14回 J A三井リース | 0.3000 | 2029/9/6 | 100,000 | 91,825 |
| | 第15回 三井住友トラスト・パナソニックファイナンスグリーンボンド | 0.8550 | 2029/9/19 | 300,000 | 288,200 |
| | 第33回 いすゞ自動車 | 0.8890 | 2029/10/23 | 500,000 | 480,254 |
| | 第17回 トヨタ自動車 | 0.0900 | 2026/6/3 | 300,000 | 299,575 |
| | 第31回 トヨタ自動車 (サステナビリティボンド) | 0.7350 | 2033/6/1 | 500,000 | 450,045 |
| | 第18回 本田技研工業 | 2.5780 | 2036/1/22 | 300,000 | 279,825 |
| | 第9回 S U B A R U (グリーンボンド) | 1.4030 | 2033/11/29 | 200,000 | 180,543 |
| | 第5回 ゼンショーホールディングス (サステナビリティボンド) | 0.7100 | 2027/6/11 | 200,000 | 197,578 |
| | 第1回 メニコン | 0.5600 | 2032/4/21 | 300,000 | 266,467 |
| | 第2回 メニコン | 1.2800 | 2033/4/20 | 300,000 | 272,471 |
| | 第12回 T O P P A Nホールディングス | 2.0390 | 2032/12/10 | 200,000 | 196,118 |
| | 第4回 大日本印刷 | 0.2800 | 2029/7/19 | 400,000 | 379,675 |
| | 第7回 大日本印刷 (サステナビリティリンクボンド) | 1.2530 | 2030/5/1 | 300,000 | 291,053 |
| | 第9回 大日本印刷 | 1.9230 | 2035/5/1 | 300,000 | 281,492 |
| | 第5回 ニフコ | 0.3850 | 2028/5/8 | 800,000 | 776,762 |
| | 第6回 ニフコ | 0.2800 | 2029/9/11 | 100,000 | 94,124 |
| | 第8回 長瀬産業 (サステナビリティリンクボンド) | 0.6400 | 2032/6/9 | 500,000 | 449,455 |
| | 第10回 長瀬産業 | 1.6900 | 2034/11/28 | 600,000 | 550,014 |
| | 第29回 豊田通商 | 0.2700 | 2031/7/18 | 200,000 | 180,634 |
| | 第6回 兼松 | 0.6500 | 2029/3/2 | 300,000 | 287,992 |
| | 第7回 日本紙パルプ商事 | 0.3300 | 2029/12/12 | 600,000 | 560,577 |
| | 第83回 三菱商事 | 1.0540 | 2034/3/21 | 400,000 | 359,216 |
| | 第31回 阪和興業 | 0.5900 | 2028/9/25 | 600,000 | 580,504 |
| | 第6回 岩谷産業 (サステナビリティボンド) | 1.2180 | 2034/1/25 | 100,000 | 89,411 |
| | 第2回 稲畑産業 | 1.7660 | 2034/6/5 | 100,000 | 92,396 |
| | 第24回 三菱UFJフィナンシャル・グループ劣後特約付 | 0.8850 | 2030/5/29 | 500,000 | 471,900 |
| | 第11回 三菱UFJフィナンシャル・グループ劣後特約付 | 0.3660 | 2026/7/29 | 363,000 | 361,984 |
| | 第9回 みずほコーポレート銀行劣後特約付 | 2.2000 | 2026/10/30 | 200,000 | 201,074 |
| | 第24回 三井住友フィナンシャルグループ実質破綻時免除劣後特約付 | 2.3450 | 2035/10/21 | 300,000 | 284,631 |
| | 第9回 りそな銀行劣後特約付 | 2.4420 | 2026/12/22 | 200,000 | 201,236 |
| | 第6回 住友信託銀行劣後特約付 | 2.7800 | 2026/4/27 | 300,000 | 300,481 |
| | 第12回 セブン銀行 | 0.3900 | 2027/9/17 | 400,000 | 393,598 |
| | 第30回 みずほフィナンシャルグループ劣後特約付 | 1.8370 | 2034/7/18 | 500,000 | 463,878 |
| 第32回 みずほフィナンシャルグループ劣後特約付 | 2.3470 | 2035/10/30 | 200,000 | 189,718 | |
| 第28回 三井住友銀行劣後特約付 | 2.1700 | 2026/12/18 | 400,000 | 402,447 | |
| 第44回 芙蓉総合リース | 1.8510 | 2030/12/12 | 500,000 | 492,011 | |
| 第10回 みずほリース | 0.3300 | 2031/9/3 | 500,000 | 450,127 | |
| 第18回 N T Tファイナンス | 0.3800 | 2030/9/20 | 200,000 | 185,138 | |

ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド

| 債券種別 | 銘柄名 | 利率 | 償還年月日 | 額面金額 | 評価額 |
|-----------------------|--------------------------|------------|------------|---------|---------|
| | | % | | 千円 | 千円 |
| 社債券 | 第26回 NTTファイナンス (グリーンボンド) | 0.8380 | 2033/6/20 | 300,000 | 267,728 |
| | 第34回 NTTファイナンス | 1.4760 | 2034/3/17 | 200,000 | 184,091 |
| | 第38回 NTTファイナンス | 1.3980 | 2034/9/20 | 300,000 | 271,636 |
| | 第41回 NTTファイナンス | 2.1450 | 2035/6/20 | 200,000 | 190,101 |
| | 第45回 NTTファイナンス | 2.7180 | 2035/12/20 | 200,000 | 198,087 |
| | 第35回 東京センチュリー | 0.3300 | 2031/7/18 | 600,000 | 540,765 |
| | 第34回 SBIホールディングス | 0.9500 | 2026/6/5 | 300,000 | 299,804 |
| | 第26回 ポケットカード | 2.1420 | 2031/2/13 | 100,000 | 99,247 |
| | 第9回 イオンフィナンシャルサービス | 0.3800 | 2026/9/18 | 100,000 | 99,607 |
| | 第26回 イオンフィナンシャルサービス | 1.5630 | 2028/10/6 | 200,000 | 197,777 |
| | 第28回 イオンフィナンシャルサービス | 1.9150 | 2029/2/9 | 500,000 | 497,524 |
| | 第29回 イオンフィナンシャルサービス | 2.3450 | 2031/2/12 | 100,000 | 99,367 |
| | 第42回 ジャックス | 1.3070 | 2028/6/9 | 400,000 | 395,758 |
| | 第84回 日立キャピタル | 0.2900 | 2030/2/20 | 600,000 | 559,723 |
| | 第23回 三井住友ファイナンス&リース | 0.3900 | 2029/4/12 | 400,000 | 382,561 |
| | 第59回 三菱UFJリース | 0.3850 | 2028/5/26 | 300,000 | 291,353 |
| | 第11回 三井住友海上火災保険 | 2.0660 | 2035/7/25 | 800,000 | 759,472 |
| | 第2回 損害保険ジャパン | 0.7490 | 2032/10/14 | 400,000 | 362,624 |
| | 第6回 T&Dホールディングス | 2.0730 | 2035/9/4 | 800,000 | 759,237 |
| | 第73回 三井不動産 | 0.5200 | 2035/3/16 | 100,000 | 83,324 |
| | 第143回 三菱地所 | 0.9000 | 2033/5/2 | 300,000 | 272,421 |
| | 第29回 東京建物 | 0.4800 | 2028/2/22 | 300,000 | 293,443 |
| | 第37回 東京建物 (サステナビリティボンド) | 2.6770 | 2036/2/27 | 400,000 | 387,782 |
| | 第17回 ダイビル | 0.5640 | 2028/10/25 | 600,000 | 580,787 |
| | 第105回 東武鉄道 | 1.0810 | 2026/6/17 | 400,000 | 400,161 |
| | 第135回 東武鉄道 | 1.3510 | 2034/5/30 | 100,000 | 91,003 |
| | 第36回 相鉄ホールディングス | 0.7000 | 2032/1/30 | 200,000 | 182,911 |
| | 第39回 相鉄ホールディングス | 0.4950 | 2029/1/25 | 100,000 | 96,409 |
| | 第11回 東急 | 0.4790 | 2032/6/1 | 400,000 | 360,894 |
| | 第14回 東急 (サステナビリティリンクボンド) | 0.7490 | 2032/12/6 | 300,000 | 272,377 |
| | 第43回 京王電鉄 | 0.6790 | 2032/7/14 | 600,000 | 547,184 |
| | 第45回 京王電鉄 | 1.0000 | 2033/2/2 | 300,000 | 276,367 |
| | 第61回 京成電鉄 | 0.5340 | 2032/5/26 | 400,000 | 361,037 |
| | 第4回 鴻池運輸 | 0.3600 | 2030/3/12 | 300,000 | 280,367 |
| | 第6回 鴻池運輸 | 0.5200 | 2030/6/28 | 400,000 | 373,676 |
| | 第8回 鴻池運輸 | 0.5100 | 2031/3/11 | 300,000 | 275,841 |
| | 第56回 西日本鉄道 (グリーンボンド) | 1.1250 | 2034/4/11 | 200,000 | 179,752 |
| | 第106回 近鉄グループホールディングス | 0.5050 | 2028/1/25 | 900,000 | 880,049 |
| | 第112回 近鉄グループホールディングス | 0.4700 | 2029/7/11 | 400,000 | 380,026 |
| | 第57回 阪急阪神ホールディングス | 0.2800 | 2030/7/17 | 300,000 | 279,380 |
| 第59回 阪急阪神ホールディングス | 0.2700 | 2031/2/26 | 100,000 | 91,881 | |
| 第47回 南海電気鉄道 | 0.4800 | 2030/6/4 | 300,000 | 280,441 | |
| 第52回 南海電気鉄道 | 1.3810 | 2034/5/29 | 200,000 | 180,992 | |
| 第53回 南海電気鉄道 | 1.8040 | 2032/10/22 | 200,000 | 192,076 | |
| 第11回 日本通運 | 0.2000 | 2026/7/14 | 700,000 | 698,623 | |
| 第5回 山九 | 0.3400 | 2030/11/27 | 100,000 | 91,833 | |
| 第7回 山九 | 1.2050 | 2034/2/28 | 300,000 | 269,644 | |
| 第10回 センコーグループホールディングス | 0.3200 | 2031/9/16 | 300,000 | 268,358 | |

ニッセイ日本インカムオープンマザーファンド

| 債券種別 | 銘柄名 | 利率 | 償還年月日 | 額面金額 | 評価額 |
|------------------------|----------------------------|------------|------------|---------|------------|
| | | % | | 千円 | 千円 |
| 社債券 | 第3回 神奈川中央交通 | 0.4800 | 2026/12/7 | 900,000 | 895,654 |
| | 第7回 神奈川中央交通 | 2.0330 | 2030/12/9 | 100,000 | 98,729 |
| | 第2回 NIPPON EXPRESSホールディングス | 1.1580 | 2033/12/13 | 100,000 | 90,641 |
| | 第10回 日本航空 | 0.5800 | 2026/6/10 | 400,000 | 399,525 |
| | 第10回 住友倉庫 (グリーンボンド) | 0.2700 | 2030/10/15 | 200,000 | 183,401 |
| | 第9回 澁澤倉庫 | 0.4500 | 2028/6/14 | 300,000 | 291,273 |
| | 第2回 安田倉庫 | 1.4000 | 2033/9/14 | 200,000 | 180,647 |
| | 第4回 近鉄エクスプレス | 0.5500 | 2031/7/8 | 200,000 | 180,511 |
| | 第28回 KDDI | 0.3550 | 2029/4/26 | 300,000 | 286,978 |
| | 第35回 KDDI | 1.4200 | 2034/7/11 | 200,000 | 182,965 |
| | 第39回 KDDI | 1.3970 | 2034/12/5 | 100,000 | 90,625 |
| | 第43回 KDDI (サステナビリティボンド) | 2.2570 | 2035/12/4 | 200,000 | 192,007 |
| | 第9回 ソフトバンク | 0.4800 | 2027/12/3 | 700,000 | 683,811 |
| | 第23回 ソフトバンク | 1.3000 | 2033/7/12 | 200,000 | 177,762 |
| | 第546回 中部電力 | 0.2800 | 2031/9/25 | 300,000 | 270,678 |
| | 第554回 中部電力 | 0.4630 | 2032/2/25 | 400,000 | 360,524 |
| | 第544回 関西電力 | 0.3400 | 2031/10/24 | 200,000 | 180,455 |
| | 第562回 関西電力 | 1.1280 | 2034/1/25 | 400,000 | 359,646 |
| | 第541回 関西電力 | 0.3700 | 2031/9/19 | 300,000 | 271,906 |
| | 第544回 東北電力 | 0.5740 | 2032/4/23 | 100,000 | 90,258 |
| | 第563回 東北電力 | 1.1610 | 2034/4/25 | 500,000 | 448,042 |
| | 第571回 東北電力 | 1.7110 | 2035/2/22 | 300,000 | 276,600 |
| | 第578回 東北電力 | 2.6480 | 2036/1/25 | 300,000 | 295,479 |
| | 第320回 四国電力 | 0.5340 | 2032/4/23 | 200,000 | 180,284 |
| | 第325回 四国電力 (グリーンボンド) | 0.8890 | 2032/10/25 | 200,000 | 182,230 |
| | 第494回 九州電力 (グリーンボンド) | 0.3100 | 2031/5/23 | 500,000 | 455,373 |
| | 第527回 九州電力 (トランジションボンド) | 1.4250 | 2034/5/25 | 400,000 | 365,516 |
| | 第407回 北海道電力 | 1.8620 | 2033/6/24 | 500,000 | 478,605 |
| | 第85回 電源開発 | 0.8720 | 2029/10/31 | 100,000 | 96,408 |
| | 第86回 電源開発 | 0.9300 | 2033/5/20 | 100,000 | 90,051 |
| | 第87回 電源開発 (グリーンボンド) | 1.1060 | 2034/2/20 | 200,000 | 179,128 |
| | 第23回 JERA (トランジションリンクボンド) | 1.1920 | 2034/2/24 | 300,000 | 269,163 |
| | 第74回 東京瓦斯 | 0.9710 | 2034/3/13 | 200,000 | 179,587 |
| | 第47回 大阪瓦斯 (トランジションボンド) | 0.5290 | 2032/9/1 | 900,000 | 811,277 |
| 第51回 大阪瓦斯 (トランジションボンド) | 0.7850 | 2033/6/2 | 500,000 | 451,039 | |
| 第13回 広島ガス | 0.4050 | 2028/9/13 | 300,000 | 289,608 | |
| 第14回 広島ガス | 0.3500 | 2030/10/15 | 400,000 | 367,367 | |
| 第2回 日本空港ビルデング | 0.2700 | 2030/3/5 | 500,000 | 467,946 | |
| 第6回 日本空港ビルデング | 2.1070 | 2035/8/28 | 300,000 | 283,635 | |
| 第14回 コナミホールディングス | 0.4800 | 2030/7/16 | 500,000 | 466,972 | |
| 第2回 日鉄住金物産 | 0.3950 | 2028/3/3 | 800,000 | 778,128 | |
| 第6回 日鉄物産 | 0.3900 | 2029/4/17 | 100,000 | 95,210 | |
| | 小計 | - | - | - | 69,564,721 |
| | 合計 | - | - | - | 70,074,997 |

投資信託財産の構成

2026年3月23日現在

| 項目 | 当期末 | |
|--------------|------------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 公社債 | 70,074,997 | 99.0 |
| コール・ローン等、その他 | 697,919 | 1.0 |
| 投資信託財産総額 | 70,772,916 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年3月23日現在)

| 項目 | 当期末 |
|-----------------|-----------------|
| (A) 資産 | 70,772,916,713円 |
| コール・ローン等 | 536,318,503 |
| 公社債(評価額) | 70,074,997,678 |
| 未収利息 | 158,092,541 |
| 前払費用 | 3,507,991 |
| (B) 負債 | 38,489,761 |
| 未払解約金 | 38,489,761 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 70,734,426,952 |
| 元本 | 61,680,899,178 |
| 次期繰越損益金 | 9,053,527,774 |
| (D) 受益権総口数 | 61,680,899,178口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 11,468円 |

(注1) 期首元本額 52,235,343,976円
 期中追加設定元本額 14,096,458,635円
 期中一部解約元本額 4,650,903,433円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ日本インカムオープン 17,858,699,117円
 ニッセイ日本インカムファンド 20,611,405,881円
 ニッセイ国内公社債ラダー (10年) DB (適格機関投資家限定) 15,204,634,888円
 ニッセイ日本債券ファンド (毎月決算型) 3,995,105,012円
 ニッセイ日本インカムオープン (年1回決算型) 4,011,054,280円

損益の状況

当期 (2025年9月23日~2026年3月23日)

| 項目 | 当期 |
|-----------------|----------------|
| (A) 配当等収益 | 298,013,384円 |
| 受取利息 | 298,013,384 |
| (B) 有価証券売買損益 | △1,322,135,624 |
| 売買益 | 20,649,105 |
| 売買損 | △1,342,784,729 |
| (C) 当期損益金(A+B) | △1,024,122,240 |
| (D) 前期繰越損益金 | 8,587,975,583 |
| (E) 追加信託差損益金 | 2,215,743,262 |
| (F) 解約差損益金 | △726,068,831 |
| (G) 合計(C+D+E+F) | 9,053,527,774 |
| 次期繰越損益金(G) | 9,053,527,774 |

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。